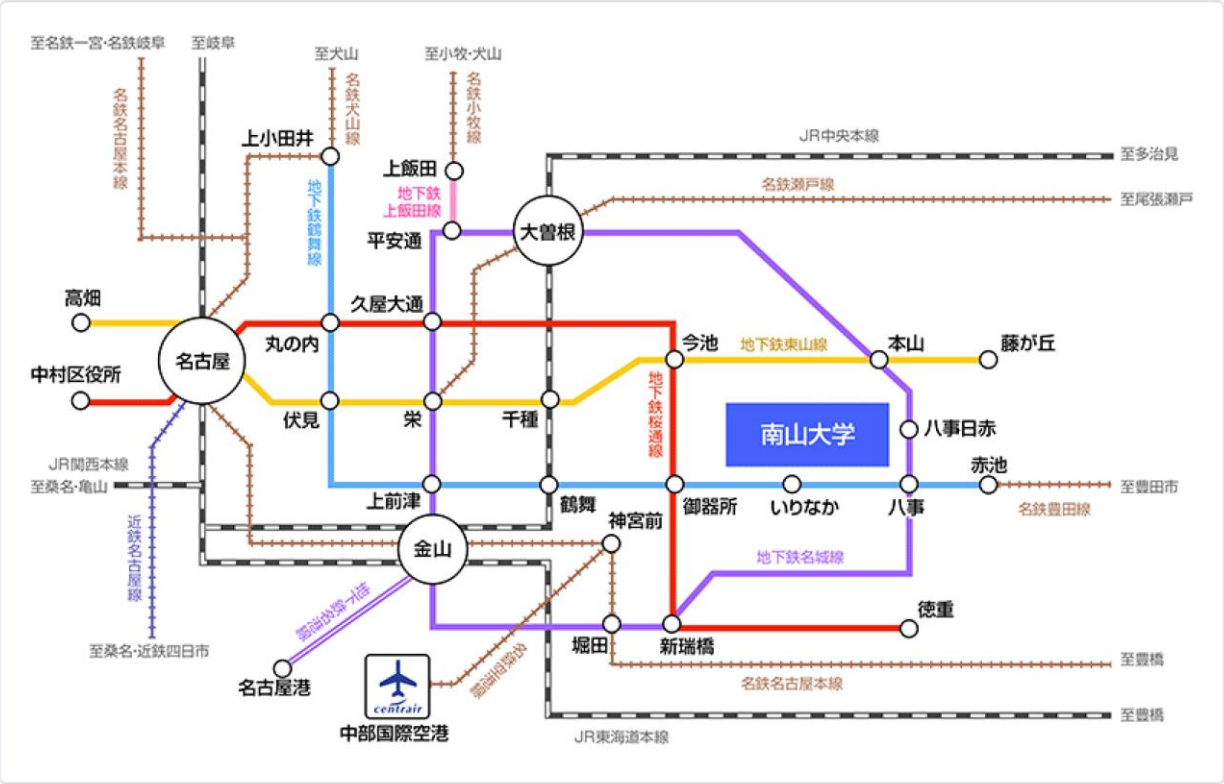
大会情報・プログラム

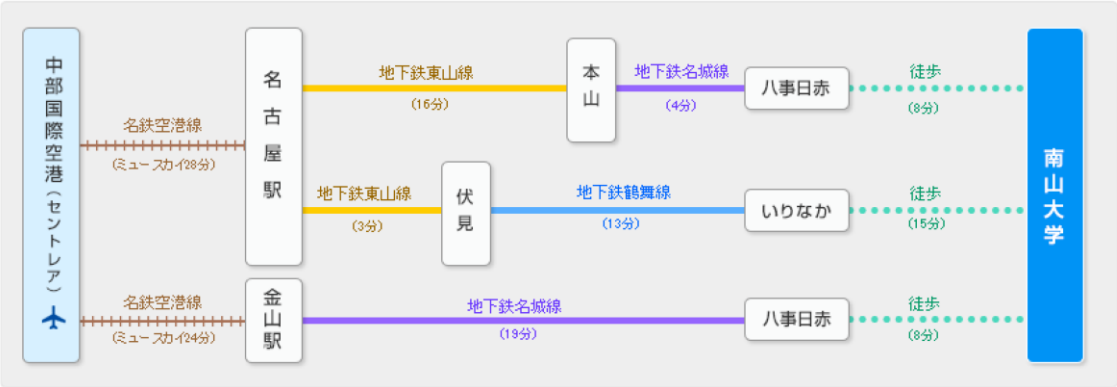
大会会場：南山大学 Q 棟・G30 棟

住所：〒466-8673　愛知県名古屋市昭和区山里町 18

南山大学へのアクセス



主要駅・空港から会場の最寄り駅へのアクセス



※（ ）の時間は目安です。

最寄り駅（地下鉄八事日赤（やごとにっせき）駅）から会場へのアクセス

名古屋駅から南山大学正門までのルート案内

・名古屋駅を降りられましたら、ＪＲのコンコースを**桜通口方面**に進んで下さい。そのまま、地下鉄方面の階段を下ります。階段を下り、少し直進すると、東山線の改札です。

※名古屋駅から東山線の乗車までの詳細については
https://nagoya.identity.city/nagoyaeki-meieki-norikae/
をご参照下さい。

・名古屋駅で**地下鉄東山線（藤が丘方面）**に乗車し、**本山駅で地下鉄名城線（八事・新瑞橋方面）に乗り換えて**ください。その後、地下鉄名城線「八事日赤」駅で降りて下さい。

・地下鉄名城線「八事日赤」駅を降りられましたら、１番出口を出て下さい。坂道の歩道に出ますが、その坂道を下ってください。

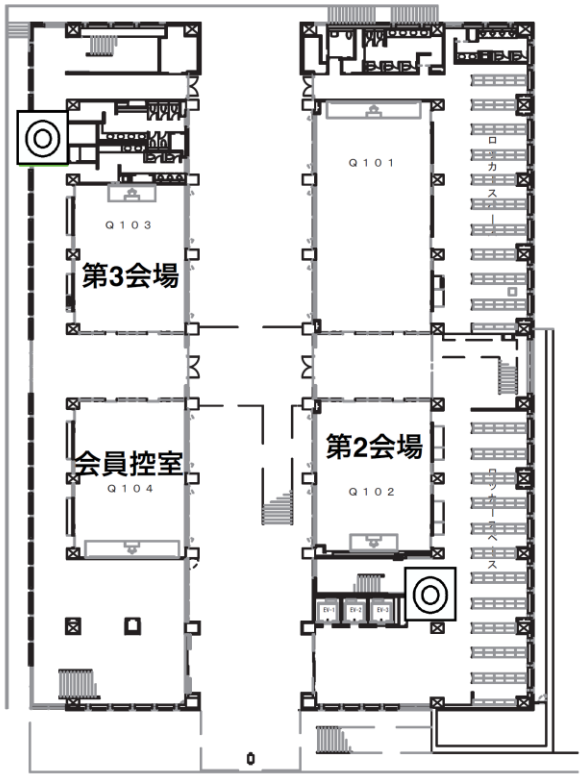
・「八事日赤病院北」交差点を、そのまま直進してください。交差点を渡り、直進し、坂道をしばらく歩くと左手にコイン・パーキング（有料駐車場）が見えてきます。

・そのコイン・パーキングの左側に細い急坂道が見えてきますので、左に曲がって下さい。その急坂道を登りながら、まっすぐ直進して下さい。二車線の車道が見えてきますが、右側に曲がらずに、直進して下さい。すぐ右手に正門が見えてきます。

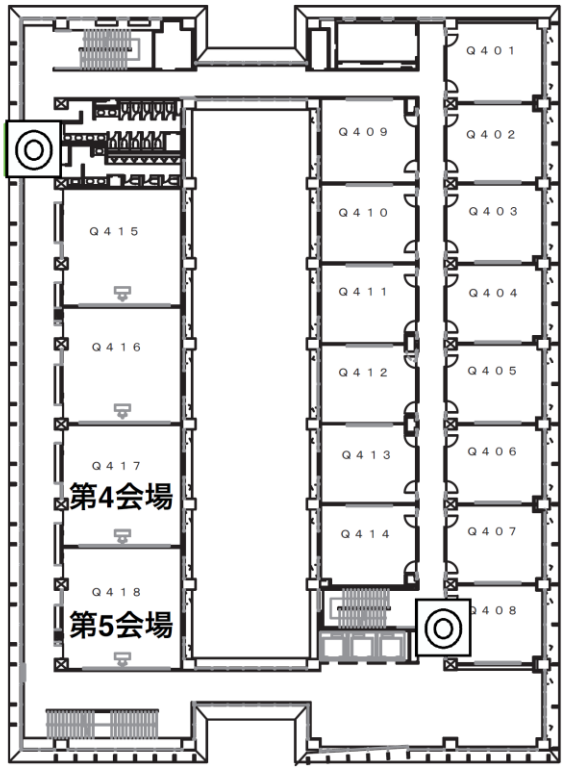
大会連絡先

〒466－8673　愛知県名古屋市昭和区山里町 18
南山大学経済学部 J 棟 411 室
荒井智行　araitomo@nanzan-u.ac.jp

Ｑ棟会場見取り図



１階



４階

教室利用表

10月28日	第一日目	第1会場 G30教室	第2会場 Q102	第3会場 Q103	第4会場 Q417	第5会場 Q418
セッション	10:00-12:00		A 戦後思想再考：《始まりを問い質す》その３	B コスモポリタニズムの秩序構想：川出良枝『平和の追求』を読む	C ボーダーとレイシズムを考えるために	
自由論題	13:00-13:45		① 報告者：吉野恭一郎 司会者：麻生博之	② 報告者：大塚淳 司会者：隠岐さや香	③ 報告者：寺尾範野 司会者：井上彰	④ 報告者：石井元基 司会者：太子堂正称
自由論題	14:00-14:45		⑤ 報告者：今井里穂 司会者：大河内泰樹	⑥ 報告者：李依妮 司会者：安藤裕介	⑦ 報告者：松尾隆佑 司会者：五野井郁夫	⑧ 報告者：藤本ヨシタカ 司会者：森直人
	15:00-17:40	シンポジウム				
	17:40-18:40	総会				

10月29日	第二日目	第1会場 G30教室	第2会場 Q102	第3会場 Q103	第4会場 Q417	第5会場 Q418
セッション	10:00-12:00		D フランクフルト大学・社会研究所創立から100周年(1)	E 伊波普猷研究の新展開:崎濱紗奈『伊波普猷の政治と哲学：日琉同祖論再読』を読む	F 社会思想におけるリプロダクション：フランス啓蒙期の女性論	
自由論題	13:00-13:45		⑨ 報告者：二井彬緒 司会者：細見和之	⑩ 報告者：北村浩 司会者：牧野邦昭	⑪ 報告者：上田悠久 司会者：川出良枝	⑫ 報告者：横山尊 司会者：小野寺研太
自由論題	14:00-14:45		⑬ 報告者：得能想平 司会者：重田園江	⑭ 報告者：和田昌也司会者：上野成利	⑮ 報告者：佐久間啓 司会者：桑田学	⑯ 報告者：都丸雅樹 司会者：渡名喜庸哲
セッション	15:00-17:00		G 社会思想史研究の系譜学：本学会創設期を振り返る			

※表内の丸付き数字は、配布資料のダウンロードの際の参照番号です

会員控室は，10月28日（土）、10月29日（日）ともに，Q104教室

幹事会　①10月27日（金）17時～18時　R棟7階72教室

②10月28日（土）12時05分～12時55分　Q棟313教室

③10月29日（日）12時05分～12時55分　Q棟313教室

スタッフ（アルバイト）控室は，10月28日（土）、10月29日（日）Q315教室

控室の他、10 月 28 日（土）Q314 教室、10 月 29 日（日）Q101 教室で食事可能

子ども用控室　両日ともに Q501-504 教室、休息所（発熱・病気等）両日ともに Q604-606 教室

2023 年度　社会思想史学会総会

１．議長選出

２．報告事項

(1)　会員の異動について

(2)　会費納入状況について

(3)　第 48 回および第 49 回大会について

(4)　本年度および次年度以降の『社会思想史研究』について

(5)　その他

３．審議事項

(1)　2022 年度決算および会計監査報告

(2)　2023 年度予算

(3)　研究倫理規程の制定

(4)　会費納入方法の変更

(5)　会則 11 条（幹事選挙投票方法の規程）の変更

(6)　剰余金の有効活用の方法

(7)　その他

４．研究奨励賞の選考結果および表彰

大会プログラム

10 月 27 日（金）　　17:00〜18:00　幹事会①　R 棟 7 階 72 教室

10 月 28 日（土）　　10:00〜14:45　セッション・自由論題報告
【第 2 会場】Q102　　【第３会場】Q103
【第 4 会場】Q417　　【第 5 会場】Q418

12:05〜12:55　幹事会②　Q313

15:00〜18:40　シンポジウム・総会
【第 1 会場】G30

19：00〜　懇親会（南山大学構内リアンカフェ）

----------10:00〜12:00　セッション----------

Ａ　戦後思想再考：始まりを問い質す（その３）

【第２会場】

世話人：初見基（無所属）
報告者：川本隆史（無所属）
討論者：中野敏男（無所属）三島憲一（無所属）初見基（無所属）

Ｂ コスモポリタニズムの秩序構想：川出良枝『平和の追求』（東京大学出版会、2023 年）を読む

【第３会場】

世話人：上村剛（関西学院大学）
司会：小畑俊太郎（甲南大学）
報告者：安藤裕介（立教大学）、網谷壮介（獨協大学）
討論者：川出良枝（東京大学）

Ｃ ボーダーとレイシズムを考えるために

【第４会場】

世話人：梁英聖（東京外国語大学）
報告者：太田悠介（神戸市外国語大学）・北川眞也（三重大学・非会員）・梁英聖
討論者：鵜飼哲（無所属）

----------13:00～13:45　自由論題----------

※丸付き数字は配布資料ダウンロードの際のファイル番号です

フランクフルト学派における哲学的問題と社会的実践：ジークフリート・クラカウアーを事例として

①【第２会場】

報告者：吉野恭一郎（東洋大学）
司　会：麻生博之（東京経済大学）

中江兆民のショーペンハウアー：『道徳学大原論』に見る中江兆民の「道徳論」の変化

②【第３会場】

報告者：大塚淳　（立教大学大学院法学研究科博士後期課程）
司　会：隠岐さや香（東京大学）

能動的市民としての女性：福祉国家形成期イギリスにおける共和主義リベラリズムの家族福祉論

③【第４会場】

報告者：寺尾範野（早稲田大学）
司　会：井上彰（東京大学）

F・A・ハイエクにおける「自生的秩序」と「共感」：『感覚秩序』を手掛かりに

④【第５会場】

報告者：石井元基（早稲田大学大学院経済学研究科博士後期課程）
司　会：太子堂正称（東洋大学）

----------14:00～14:45　自由論題----------

疎外は何処から生じるのか：反人間主義的批判の検討を手掛かりに

⑤【第２会場】

報告者：今井里穂（京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程）

司　会：大河内泰樹（京都大学）

フリードリヒ・リストにおけるフェルアイン(Verein)概念の意義：西南ドイツ初期自由主義および19世紀ドイツの自然法論の視点から

⑥【第３会場】

報告者：李依妮（京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程）

司　会：安藤裕介（立教大学）

アナーキズムとデモクラシーはどのように衝突するか

⑦【第４会場】

報告者：松尾隆佑（宮崎大学）

司　会：五野井郁夫（高千穂大学）

「新しい時代のための新たな批判理論」を目指して：ウェンディ・ブラウンの新自由主義批判を『啓蒙の弁証法』から読み解く

⑧【第５会場】

報告者：藤本ヨシタカ（立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員）

司　会：森直人（高知大学）

----------15:00～18:40　シンポジウム・総会----------

シンポジウム「女性による社会思想史」

【第１会場】

報告者：水溜真由美（北海道大学）・武田千夏（大妻女子大学）

討論者：大貫敦子（学習院大学）

司　会：板井広明（専修大学）

企画立案：隠岐さや香（東京大学）

17:40-18:40　総会　　【第１会場】

19：00～　懇親会　　【南山大学構内リアンカフェ】

10 月 16 日（日）　　10:00～12:00　／ 15:00～17:00 セッション
12:05～12:55　幹事会③　Q313
13:00～13:45 ／ 14:00～14:45 自由論題報告

----------10:00～12:00　セッション----------

Ｄ　フランクフルト社会研究所創立から１００年を期して（１）

【第２会場】

世話人：高幣秀知（北海道大学名誉教授）
報告者：八木紀一郎（京都大学／摂南大学名誉教授・非会員）・秋元由裕（無所属）
討論者：小田智敏（広島市立大学非常勤講師）・保住敏彦（愛知大学名誉教授）
細見和之（京都大学教授）

Ｅ　伊波普猷研究の新展開：崎濱紗奈『伊波普猷の政治と哲学：日琉同祖論再読』を読む

【第３会場】

世話人・司会：馬路智仁（東京大学）
報告者：崎濱紗奈（東京大学・非会員）
討論者：冨山一郎（同志社大学・非会員）・三笘利幸（立命館大学）

Ｆ　社会思想におけるリプロダクション：フランス啓蒙期の女性論

【第４会場】

世話人：後藤浩子（法政大学）
報告者：ファヨル入江容子（甲南大学）・後藤浩子
討論者：横田祐美子（立命館大学・非会員）、梅垣千尋（青山学院大学）

----------13:00～13:45　自由論題----------

※丸付き数字は配布資料ダウンロードの際のファイル番号です

ハンナ・アーレントの初期バイナショナリズム・ヨーロッパ連邦構想と『革命について』の比較検討：〈パレスチナ〉をめぐって

⑨【第２会場】

報告者：二井彬緒（東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム）
司　会：細見和之（京都大学）

社会的連帯経済の思想

⑩【第３会場】

報告者：北村浩(公益財団法人 政治経済研究所)

司　会：牧野邦昭（慶應義塾大学）

ホッブズの政治経済思想における私益と公益：慈善と勤労に注目して

⑪【第４会場】

報告者：上田悠久（茨城大学）

司　会：川出良枝（東京大学）

第一次大戦後の日本における「社会連帯主義」の禁酒論：田子一民と未成年者飲酒禁止法

⑫【第５会場】

報告者：横山尊（九州大学大学院比較社会文化研究院・特別研究者）

司　会：小野寺研太（日本女子大学）

----------14:00～14:45　自由論題----------

差異の哲学をフェミニズムにおける受容史から再考する

⑬【第２会場】

報告者：得能想平（奈良先端大学）

司　会：重田園江（明治大学）

批判の二つのモデルを超える道：ミゲル・アバンスールの視座から

⑭【第３会場】

報告者：和田昌也（同志社大学研究開発推進機構）

司　会：上野成利（神戸大学）

社会主義者と戦争：第一次大戦前夜のジャン・ジョレス

⑮【第４会場】

報告者：佐久間啓（同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科博士後期課程）

司　会：桑田学（福山市立大学）

ドゥボール『スペクタクルの社会』における「転用＝偏流」概念の矛盾について：ドゥルーズからドゥルーズ＝ガタリへの遷移との比較の中で

⑯【第５会場】

報告者：都丸雅樹（京都芸術大学大学院博士課程）

司　会：渡名喜庸哲（立教大学）

----------15:00〜17:00　セッション----------

Ｇ　【幹事会企画セッション】

社会思想史研究の系譜学：本学会創設期を振り返る

【第２会場】

報告者: 安藤隆穂（名古屋大学）・長尾伸一（名古屋大学）

司　会：川出良枝（東京大学）

〇大会開催校・学会事務局からの連絡とお願い

◆　大会プログラム・報告集のウェッブサイト掲載

一昨年度より冊子体での大会プログラム・報告集発行は廃止されました。大会プログラム・報告集は学会ＨＰ（http://shst.jp）掲載のＰＤＦファイルのみとなりますので、ご了承ください。

◆　大会参加申し込みのお願い

大会参加人数の事前把握のため、参加される方は、学会ＨＰの大会特設ページ内にある大会参加申し込みフォームに予めご記入ください。

◆　印刷物の配布について

報告等で印刷物の配布をされる方は、各自作成のうえ、報告会場まで直接ご持参ください。受付では一切のコピーをいたしません。ご協力くださいますようお願いいたします。なお、ＰＤＦまたはＭＳワードファイルを学会ＨＰ上の大会特設ページ内の資料配布欄に各自アップロードして頂くことができます。

◆　お弁当・懇親会の予約について

学会ＨＰ上の大会特設ページ内にお弁当と懇親会の予約ページがあります。予約と同時にクレジットカード決済の必要があります。10 月 24 日 17 時までにお手続きください。キャンパス内コンビニはコパン（学生会館）１階にあります（土曜のみ（9～17 時）。

ただし、土曜日は不定期営業のため、お店が営業していない場合があります。学会開催日（10 月 28 日）の１週間前に、コンビニが営業されるかどうかについて、このプログラムの同じページ上に追加の情報を更新します）。

◆　大会受付

受付は、Ｑ棟２階の出入り口付近にあります。参加者はこちらで必ず受付を済ませてください。